

主要施策名:(2)水産業の振興

事務事業本数:5

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業 コード	事務事業	所管課
④活力とにぎわい のある産業のまち づくり	(2)水産業の振 興		420-1	水産振興事業	農林水産政策課
			420-2	水産資源保全事業	農林水産政策課
			420-3	漁港管理事業	農林水産政策課
			420-4	漁港整備事業	農林水産政策課
			420-5	水産物供給基盤機能保全事業	農林水産政策課

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	水産振興事業		所管課【2】	農林水産政策課
			評価者(担当者)	前田 智範
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④活力とにぎわいのある産業のまちづくり		
	主要施策(節)	(2)水産業の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 6 項 3 目 2 細目 1			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	近年の漁場環境の悪化に伴い、本市の水産資源量が減少し、アサリ、海苔の主要水産物の漁獲量又は生産量が低迷している。また質の高い生産と安全・安心な水産物を提供するためにも、市や漁業関係者による漁場環境の保全や水産資源の回復等を図る必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	各漁協・漁業者・各種団体他
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	環境保全に対する意識の高揚と水産業の振興を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 負担金 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・水産連絡会議業務(総会により水産資源の計画の報告を行う。) ・海の羽根募金活動・清掃活動 ・水産振興関係団体負担金事業(負担金を支出して、水産振興を支援する。)		事務事業を構成する細事業 【15】
			① 市水産連絡会議業務 ② 海の羽根募金業務 ③ 水産振興関係団体負担金事業 ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	1,897	280	242	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	3,293	1,021	1,568	5,884
		【16】 小計	5,190	1,301	1,810	5,884
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.30	0.30	0.30	0.30
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871
【17】 小計		1,728	1,761	1,761	1,761	
合計		6,918	3,062	3,571	7,645	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 市水産連絡会議業務	総会等により水資源の現状報告、水産振興事業の計画の報告等を行う	総会等開催回数	回	1	1	1	1
② 海の羽根募金業務	募金活動・ビニール袋や軍手配布	募金金額	円	52157	49600	0	52000
③ 水産振興関係団体負担金事業	負担金を支出して水産振興を支援する。	負担金支出団体数	団体	5	5	5	5
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 漁協組合員数	4漁協の市内居住正組合員数	人	302 221	221 215	215 212	212
2 主要水産物の漁獲量	主要水産物(アサリ)の漁獲量	t	40.00 5.80	40.00 0.00	40.00 69.00	40.00

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	水産業に対する意識の高揚と水産業の振興に支障をきたす。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	水産振興を支援する重要な事業であるため現状のまま継続する。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	水産業の振興を図る上で必要な業務あり、継続が必要。	評価責任者 本山 武志
------------------	---------------------------	----------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	水産資源保全事業		所管課【2】	農林水産政策課	
			評価者(担当者)	前田 智範	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④活力とにぎわいのある産業のまちづくり			重点 施策【4】
	主要施策(節)	(2)水産業の振興			
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			<input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 水域環境保全創造事業分担金徴収条例、アサリ稚貝育成事業要領 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 6 項 3 目 2 細目 2				

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又は ニーズがあるのか) 【8】	近年の漁場環境の悪化に伴い、本市の水産資源量が減少し、アサリ、海苔の主要水産物の漁獲量又は生産量が低迷している。また質の高い生産と安全・安心な水産物を提供するためにも、市や漁業関係者による漁場環境の保全や水産資源の回復等を図る必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	各漁協・漁業者他
意図(どのような状態に したいのか) 【10】	水産資源の回復・増大を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input checked="" type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・4漁協に対して補助金を交付し、漁場整備やアサリ稚貝や稚魚の漁場放流等を行う。 ・覆砂工事による漁場整備を行う。 ・県と連携したアサリ生息状況調査や漁協と連携した漁港施設の清掃活動を行う。		事務事業を構成する細事業【15】 ① 市アサリ稚貝育成事業 ② 有明海クリーンアップ作戦支援業務 ③ 稚魚放流事業 ④ 水産資源量及び分布状況調査業務 ⑤ 県営水産環境整備事業負担金業務

《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	2,250	3,455	0	
		一般財源	5,450	9,500	15,520	9,331	
	【16】 小計	5,450	11,750	18,975	9,331	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員件 の費	職員人工数	0.20	0.20	0.20	0.20	
		職員の年間平均給与(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計	1,152	1,174	1,174	1,174			
合計		6,602	12,924	20,149	10,505		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 市アサリ稚貝育成事業	漁協に補助金を交付し、海底耕うんや有害生物除去等の漁場保全活動、覆砂等の着床施設の整備を支援する。	補助金交付漁協数	漁協	3	4	4	4
② 有明海クリーンアップ作戦支援業務	漁協と連携した漁港とその周辺での清掃活動を行う。	活動従事者数	人	2000	1300	1300	1300
③ 稚魚放流事業	漁協に補助金を交付し、鮎・鰻・手長えび等の稚魚を放流させる。	稚魚放流量	匹	545697	525315	615927	550000
④ 水産資源量及び分布状況調査業務	県と連携して階層ごとのアサリ生息個数を確認する。	調査回数	回	8	7	8	8
⑤ 県営水産環境整備事業負担金業務	県が実施する水産環境保全事業に対し、負担金を支出する。	実施団体数	団体	***	1	3	0

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 水産物漁獲量	主要水産物(アサリ)漁獲量	t	40	40	40	40
			5	0	69	
2 海苔生産量	海苔生産枚数	千枚	180000	180000	180000	180000
			156150	146964	152484	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	水産資源の回復等が停滞する。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	災害・気象状況の変化による環境変化で、水産資源の回復が見られず目標を達成することができなかった。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	近年の本市の水産業の動向は、アナアサヤホトギス貝マット(イガイマット)などの有害生物により、アサリ貝などの二枚貝類の生育に大きな打撃を与えており、水産資源の減少、漁場環境の悪化等により大きく影響を受け厳しい状況である。しかし、昨年度は調査の結果、アサリ貝の稚貝も多数確認されており、一部改善の兆しが見られるため、今後も、各漁協と連携し、漁場環境の改善に努める必要がある。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	本市水産業の主力水産物は海苔・アサリであるが、特にアサリについては、一部改善が見られるが、今後も事業の継続が必要。	評価責任者 本山 武志
------------------	---	-----------------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	漁港管理事業		所管課【2】	農林水産政策課
			評価者(担当者)	前田 智範
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④活力とにぎわいのある産業のまちづくり		
	主要施策(節)	(2)水産業の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 漁港漁場整備法、玉名市漁港管理条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 6 項 3 目 3 細目 1			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	市が管理する漁港や避難港の港内又は航路等の堆積土が漁業活動の支障となり、作業効率や安全性を低下させてしまう恐れがある。また、各施設の老朽化による危険箇所等も見受けられることから、劣化状況に応じた補修等の適切な維持管理を行う必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	各漁港施設、漁業者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	各漁港施設の適正管理と機能維持を図り、漁業活動の効率化と漁業者の安全を確保する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・しゅんせつ船を所有する滑石漁協へ補助金を交付し、滑石漁港の港内及び航路を浚渫させる。 ・台帳システムで漁港に関するデータ管理を行う。 ・小規模な施設補修等を行う。 ・漁港施設内を占用する者に対する許認可を行う。	⇒	事務事業を構成する細事業【15】 ① しゅんせつ機管理補助事業 ② 漁港維持管理事業 ③ 漁港施設占用許可業務 ④ 漁港台帳整備業務 ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	4,630	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	85	0	0
		一般財源	9,794	3,006	3,185	4,722
	【16】 小計	14,424	3,091	3,185	4,722	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.45	0.45	0.45	0.45
		職員の年間平均給与(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871
【17】 小計	2,592	2,642	2,642	2,642		
合計		17,016	5,733	5,827	7,364	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① しゅんせつ機管理補助事業	滑石漁協に補助金を交付し、しゅんせつ船の管理及びしゅんせつ工をさせる。	しゅんせつ回数	回	2	0	32	10
② 漁港維持管理事業	全漁港の台帳データシステム整備を行う。	台帳補正件数	箇所	0	1	1	1
③ 漁港施設占用許可業務	漁港施設の維持管理や軽微な施設の補修を行う。	補修等箇所数	件	6	11	5	10
④ 漁港台帳整備業務	漁港施設内の申請書の提出を受理し許可する。	申請許可件数	件	9	2	2	2
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 事故等発生件数	漁港施設内での漁業事故等件数	件	0	0	0	0
			0	0	0	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	維持管理を怠った場合、市民の生命、財産が脅かされる恐れがある。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	市が管理する漁港や避難港を適切に維持管理する必要があるため、現状のまま継続する。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	漁港管理事業は、漁港を維持管理し、漁業者の生命、財産を守るために必要な事業であり、現状のまま継続する必要がある。	評価責任者 本山 武志
------------------	--	----------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	漁港整備事業		所管課【2】	農林水産政策課	
			評価者(担当者)	前田 智範	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④活力とにぎわいのある産業のまちづくり			重点 施策【4】
	主要施策(節)	(2)水産業の振興			
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			<input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 漁港漁場整備法、玉名市漁港管理条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務				
会計区分【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 6 項 3 目 4 細目 1				

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又は ニーズがあるのか)【8】	市が管理する水産業の拠点施設としての機能と役割を持つ漁港は、これまでも基本計画に即して整備又は管理してきた。今後も、外郭施設、輸送施設、水域施設等で老朽化や災害等で水産基盤施設としての機能、安全性及び利便性等の低下した箇所や未整備箇所について、順次、整備していく必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	各漁港施設、漁業者
意図(どのような状態に したいのか)【10】	水産基盤施設としての機能を維持し、漁業活動の効率化と安全性を向上させる。

《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・横島漁港物揚場嵩上工事 延長L=55mの一部 ・大正開漁港(新)内泊地浚渫に伴う土質調査等委託業務 16,358㎡の一部 ・玉名漁港(滑石地区)物揚場嵩上工事に伴う設計等委託業務 ・玉名漁港(大浜地区)外灯設置工事 1基 ・物揚場嵩上工事設計業務委託 委託ヶ所:横島漁港	⇒	事務事業を構成する細事業【15】 ①【漁港冠水対策】横島漁港整備事業(物揚場) ② 大正開漁港整備事業(浚渫等) ③【漁港冠水対策】滑石漁港整備事業(物揚場) ④ 大浜漁港整備事業(外灯) ⑤ 玉名漁港(滑石、大浜)深淺測量業務委託事業

《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画		
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%	0	0	0	0	
		県支出金	%	0	3,900	3,220	3,220	0
		起債	%	0	0	0	0	0
		受益者負担		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		8,678	7,301	8,571	14,503	0
	【16】 小計		8,678	11,201	11,791	17,723	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0		
	職人 員件 の費	職員人工数		0.30	0.30	0.30	0.30	
		職員の年間平均給与(千円)		5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計			1,728	1,761	1,761	1,761		
合計			10,406	12,962	13,552	19,484		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 【漁港冠水対策】横島漁港整備事業(物揚場)	物揚場嵩上工事を行う。	工事箇所数	箇所	***	***	1	0
② 大正開漁港整備事業(浚渫等)	委託により土質調査及び工事設計を行う。	委託件数	件	***	***	1	0
③ 【漁港冠水対策】滑石漁港整備事業(物揚場)	委託により工事設計を行う。	委託件数	件	***	***	1	0
④ 大浜漁港整備事業(外灯)	漁港物揚場外灯設置。	整備数	基	***	***	1	0
⑤ 玉名漁港(滑石、大浜)深淺測量業務委託事業	委託により深淺測量を行う。	委託件数	件	***	***	0	1

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 漁港利用漁船等隻数	漁港利用漁船等隻数	隻	650	650	650	650
			665	650	649	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	効率的な漁港活動と安全性に影響がある。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	船舶の老朽化や組合員の高齢化による減少。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	水産基盤施設としての機能を維持し、漁業活動の効率化と安全性を確保する必要があるため、現状のまま継続する。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	水産物供給基盤機能保全事業の計画とともに施設の延命を図り、更新コストの縮減に努める。	評価責任者 本山 武志
------------------	--	-----------------------

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	水産物供給基盤機能保全事業		所管課【2】	農林水産政策課
			評価者(担当者)	前田 智範
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④活力とにぎわいのある産業のまちづくり		
	主要施策(節)	(2)水産業の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 漁港漁場整備法、玉名市漁港管理条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市水産供給基盤機能保全事業基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input checked="" type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 6 項 3 目 4 細目 2			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	これまで整備された多くの漁港施設が老朽化とともに更新を必要としていることから、管理を体系的にとらえた計画的な取組みにより、施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化・縮減を推進する必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	漁港施設
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	各漁港の機能保全計画を策定し、それに基づく機能保全対策を行うことにより、施設の長寿命化と更新コストの平準化・縮減を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H25 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	各漁港の機能保全計画を策定し、それに基づく機能保全対策を行う。	⇒	事務事業を構成する細事業【15】 ① 水産物供給基盤機能保全事業(浸漬)(27繰) ② 【緊急経済対策】水産物供給基盤機能保全事業(H27繰越) ③ 水産物供給基盤機能保全事業(H28) ④ 水産物供給基盤機能保全事業 ⑤ 水産物供給基盤機能保全計画策定事業(26繰)

《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	34,409	79,815	102,630	109,145
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	34,409	79,816	102,631	109,145
	【16】 小計	68,818	159,631	205,261	218,290	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.40	0.40	0.40	0.40
		職員の年間平均給与(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871
【17】 小計		2,304	2,348	2,348	2,348	
合計		71,122	161,979	207,609	220,638	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 水産物供給基盤機能保全事業(浚渫)(27線)	玉名漁港機能保全計画に基づき機能保全対策(航路浚渫工事)を行う。	工事箇所数	件	0	0	1	0
② 【緊急経済対策】水産物供給基盤機能保全事業(H27繰越)	玉名漁港機能保全計画に基づき機能保全対策(航路浚渫工事)を行う。	工事箇所数	件	0	0	1	0
③ 水産物供給基盤機能保全事業(H28)	玉名漁港、大正開漁港機能保全計画に基づき機能保全対策(航路浚渫工事)を行う。	工事箇所数	箇所	0	0	1	1
④ 水産物供給基盤機能保全事業	大正開漁港機能保全計画に基づき機能保全対策(航路泊地浚渫工事)を行う。	工事箇所数	箇所	0	0	0	1
⑤ 水産物供給基盤機能保全計画策定事業(26線)	委託により各漁港の機能保全計画を策定する。	委託件数	件	2	3	0	0

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
1 機能保全計画策定率	機能保全計画策定済漁港数/漁港数×100	%	40	80	100	100
2 機能保全計画に基づき補修・保全した施設数	機能保全計画に基づき補修・保全した施設の累計	箇所	1	2	1	1

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	効率的な漁港活動と安全性に影響がある。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化・縮減を推進し、漁業活動の効率化と安全を守るために必要であり、現状のまま継続する。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	水産物供給基盤機能保全事業の計画とともに施設の延命を図り、更新コストの縮減に努める。	評価責任者 本山 武志
------------------	--	-----------------------